

「塗り絵」や「切り絵」図案を使って塗り絵を楽しむ

今回はパソコンの描画ソフト・ペイントを利用して塗り絵を楽しんでみましょう。

1. ペイントの準備: ペイントをすぐ使えるように、次のようにタスクバーにピン止めします。

「Windowsアクセサリ」→「ペイント」を右クリック→「タスクバーにピン止めする」を左クリック。

(「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ペイント」を右クリック→「タスクバーに表示」を左クリック)

2. 下絵の準備: Webで「ぬりえと切り絵 無料下絵」をキーにして検索 → {「ぬりえ」と「切り絵」の無料

下絵一覧:絵どころ……}を選択。大人用の優雅な下絵が出ています。ここでは「舞姫」を選択して、

下絵を右クリック→「名前を付けて画像を保存」します。ファイルの種類が「PNG」の場合はそのまま

OKですが、ファイルの種類が異なる場合は、ペイントで開き、「PNG」でもう一度保存し直します。

3. 下絵の塗り絵: ペイントを起動し、「開く」から2でダウンロードした「舞姫」下絵を開き、加工します。

(1) 下絵の線を黒くする:

「色1」を黒に設定、



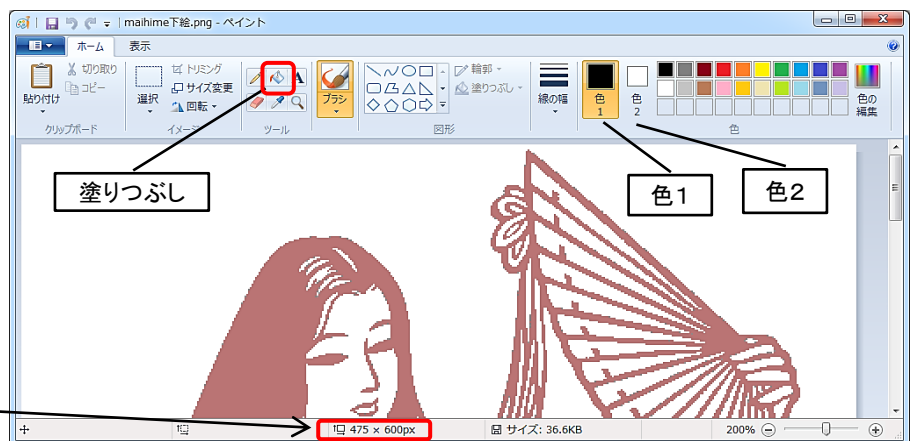
「塗りつぶし」をクリック



髪の毛をクリック

これで下絵の線が黒く変化。

(絵のサイズ:475×600px)




(2) 舞姫の色付け:

塗る箇所毎に「色1」の色を適当に設定し

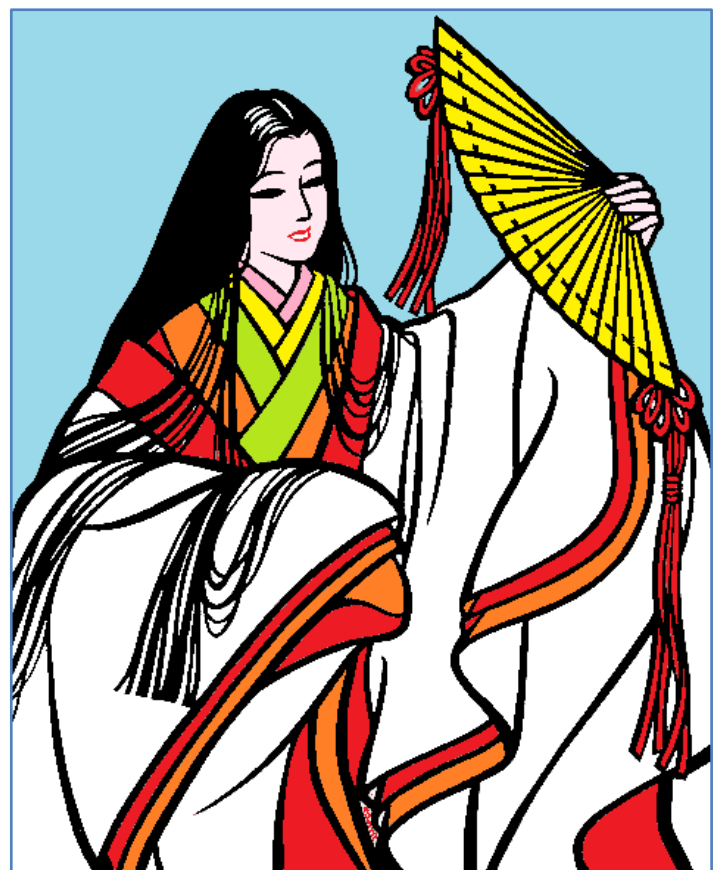
「塗りつぶし」により色付けを行います。

細部については、ペイント右下部の表示倍率調整で、最大に拡大して作業しましょう。

塗つぶしに失敗した時は、直ちに「元に戻す」() で、元に戻してから、やり直して下さい。

肌色は、「ローズ」→「色の編集」で色合いを調整し、「色の追加」を行ってから、塗つぶしに使用します。

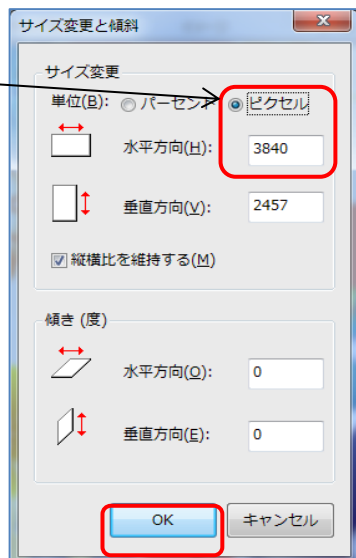
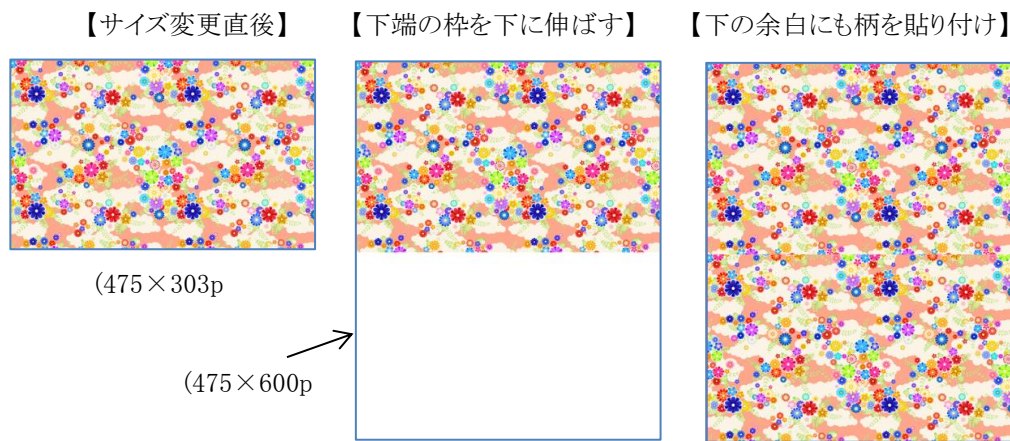
右図で、白く残した箇所には着物の絵柄を入れます(次頁)。



4. 着物の模様付け：着物柄としては和服や和紙の柄模様を活用し、華やかな舞姫姿にしましょう。

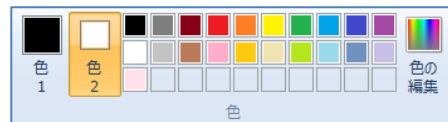
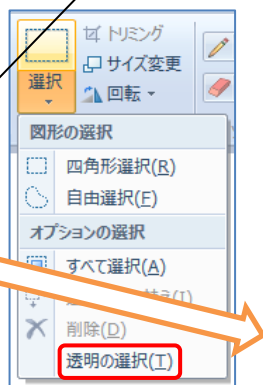
(1) 柄模様の入手――今回は「フリーイラスト 和柄背景 花と雲」をキーにしてWeb検索を行い、この絵柄を右クリックし「名前を付けて保存」(例えば「花と雲」)をしておきます。保存した図の種類が「JPG」や「GIF」など「PNG」ではない場合は、ペイントで開いてから「PNG」で保存し直します。

(2) 2番目の「ペイント」を起動し、着物の柄模様「花と雲」を読み込む(サイズ:3840×2458px)。舞姫に比べて柄絵のサイズが大きすぎるので、「サイズ変更」→「ピクセル」→水平方向サイズ3840pxを舞姫に合わせて475pxとしてOKをクリック。



(3) 最初のペイント(舞姫の絵)で、「全てを選択」→「コピー」とし、2番目のペイント(着物絵柄)に「貼り付け」します。――― 着物絵柄の上に舞姫の図が重なった状態になります。

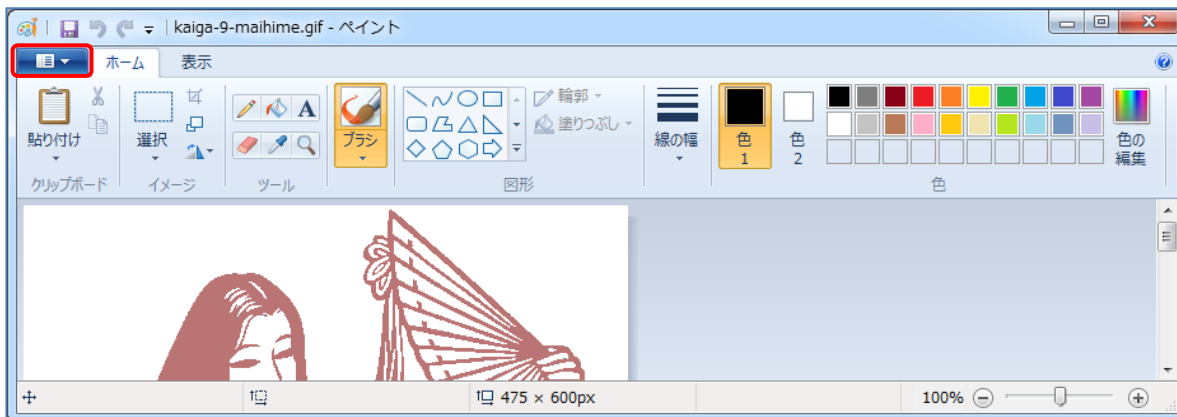
(4) 2番目のペイントの舞姫の着物を透明にします。―― 「色2」→「白色」(透明にする着物の色)を選択→「選択」の矢印をクリック→「透明の選択」をクリック。舞姫の白色部分が透明になり、着物絵柄(花と雲)が現れます。



5. 背景を追加 ―― 4項と同様、背景となるイラストを準備し、3番目のペイントにその図を取り込みます。2番目のペイントから「全てを選択」→「コピー」し、3番目のペイントに「貼り付け」します。3番目ペイント→「色2」で「薄いターコイズ」を選択→「選択」→透明とすれば、背景図が現れ舞姫の完成図となります。1～3番目のペイント図を各々「名前を付けて保存」(ファイルの種類は「PNG」を選択して保存)します。

5. 補足：【ペイントで、ファイルの種類「PNG」を選択して保存する方法】

(1) ペイント画面左上の矢印を左クリックします。



(2) 画像を開く、保存、印刷などさまざまな操作のメニューが表示されます。

(3) メニューの「名前を付けて保存」の上にマウスを移動(ここではクリックしない)させると、メニューの右側に画像の種類が表示されるので、「PNG画像」を左クリックします。

ペイントで透明化の機能を使うにはPNGがお勧めです。

BMPでもOKですがファイルサイズが大きくなります。

(4) 「名前を付けて保存」の画面では、既にファイルの種類が「PNG」に設定されているのでそのまま「保存」をクリックします。ここで別なファイル名にしてもOKです。